



第229号 発行所 第42即応機動連隊後援会事務局 印刷所 借成印刷 電話 384-2432

1等陸佐 後藤 真二

第3代連隊長 後藤 1佐着任



年頭の辞

新年明けましておめでとうございます。連隊後援会、OB会をはじめとする協力諸団体の皆様、並びに隊員ご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月22日に第3代第42即応機動連隊長を拝命致しました後藤1佐です。宜しくお願い致します。

連隊は昭和37年8月創隊以来、長い歴史と輝かしい伝統の中、幾多の改編を経て、全国に先駆けた即応機動連隊として改編され、諸職種協同の強靱な部隊へと変革を遂げており、その第42即応機動連隊において指揮官に任ずることは大変光栄と感じております。一方、連隊の役割を考えたとき、その重さに身の引き締まる思いです。よき伝統を継承し、地域に密着し、有事の際はいかなる任務も完遂し得る部隊を創造することを目標に全身全霊を傾注する覚悟であります。

近年は戦後最も厳しい安全保障環境が継続している情勢において連隊は、大綱に基づく陸上自衛隊組織改編の一環として新規装備品の導入、操法・操縦訓練、実弾射撃訓練、諸職種協同による実動訓練等を積み重ね、昨年の自衛隊統合演習(11月)、本年の総合戦闘射撃(8月)等を通じ即応機動連隊としての戦力化を確認するとともに、転入隊員及び新配置隊員両ご家族に対する部隊状況の理解促進のための説明会(3月、8月、11月)、各地域による防災訓練及び各種支援(通年)等様々な任務にも対応するなど、多くの任務を完遂することができました。これは隊員の真摯な努力と協力諸団体の深いご理解と多大なるご支援・ご協力の賜物であることに他ならず心より感謝申し上げます。

本年においても連隊は、歴代連隊長をはじめとする諸先輩方が築き上げた伝統を継承しつつ、混迷を深め厳しさを増す安全保障環境において、国防という国家存立の根本に関わる崇高な任務を完遂すべく、その使命と責任の重さを胸に、あらゆる任務の完遂に向け関係機関と連携し全力で邁進してまいります。

最後に、本年が皆様にとって幸多き年でありませうお祈りするとともに、連隊の活動に対するご理解を頂き、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。着任及び新年の挨拶とさせていただきます。

統率方針

「即 応 必 遂」

要望事項

「責任の自覚 団前」

「責 任 の 自 覚」

「強 固 な 前 進」

「着 実 な 進 歩」



前連隊長小見1佐は、平成30年12月20日、第42即応機動連隊長として着任され、令和3年12月21日までの間、「いかなる任務にも的確に対応し得る強靱な部隊」を統率方針として強靱な部隊の育成に邁進されました。

特に平成30年12月着任するや新編後の部隊の戦力化に努め「協同連携」を要望事項として諸職種連合部隊の特性を踏まえた各種教育訓練を段階的かつ迅速に機動的に実施するとともに部隊の任務・役割を踏まえ島嶼へ迅速に機動的に展開する実効性の運用検討を重ねた戦術計画の実効性向上に努められ、いかに如何なる任務にも即動し対応し得る連隊の基礎を確立されました。

また、令和2年7月豪雨災害派遣では地域に寄り添った応急復旧活動を実施するとともに、南海トラフ地震対策訓練をはじめ、地域の防災訓練には積極的に参加し、あわせて転入隊員・新配置隊員及びその家族に対するは部隊状況の理解促進、不安の除去を目的に家族説明会を実施するなど民生の安定への貢献及び隊員家族を含めた帰属意識の高揚を図られました。

この度の異動で、新潟地方協力本部長として御栄転されました。



小見連隊長 離任

新潟地方協力本部長へ

プロフィール	出身地	学歴	主要補職
大分県 熊本学園大学卒	大分県	熊本学園大学卒	教育大隊入隊(一般2等陸士)
			第41普通科連隊 小銃手
			幹部候補生学校 一般幹部候補生(80期)
			第42普通科連隊 小銃小隊長
			防衛大学校 指導教官
			普通科教導連隊 小隊長兼第2科情幹、3科連幹
			幹部学校 指揮幕僚課程(52期)
			富士学校 普通科連隊 第1戦術班
			第51普通科連隊 中隊長
			統合幕僚監部 運用部 運用第1課
			陸上幕僚監部 運用部 防衛課
			陸上幕僚監部 運用支援・情報部 運用支援課
			内部事務局 大臣官房 防衛白書作成事務室
			防衛研究所 一般課程(66期)
			東北方面総監部 防衛部 防衛課長
			陸上総隊司令部 運用部 防衛課長
			運用部 防衛課長

謹賀新年



傳虎為翼 (ふこいよく)

「強く力を充た者がさらに力をつけていく事」

世界遺産 天草の崎津集落



OB会会長
中田至



後援会会長
木村光男

感染症に対する社会不安、外出自粛、化し、行く先が不安定な状況の中にあり、その中、日本を取り巻く安全保障環境は一層と厳しさを増し、国土・国民の生命と財産を守る隊員の皆さんに対する期待は揺るがないものになってきました。即応機動連隊として4年、日々淡々と訓練に励まれ、災害派遣等で民生の安定に努められた実績は実力になってきていると感じております。我々後援会も心強く思います。即応機動連隊も、新連隊長の統率のもと出発されますが後援会も引き続き隊員皆様の士気高揚と任務遂行が出来ますようOB会とともにさらなる支援・協力をしていく所存です。

最後に連隊長様をはじめ隊員の皆様、御家族の皆様のご挨拶と致します。

第42即応機動連隊隊員の皆様並びにOB会会員の皆様及び後援会会員の皆様あけましておめでとございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、ご家族様共々良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和3年は令和2年に引き続き新型コロナウイルス対応に明け暮れた1年でした。最近ではオミクロン株という変異種が全世界的な感染拡大が開始し、状況ですが国内にこれ以上の感染がないことを祈るばかりです。幸いにも昨年は連隊が派遣されるような災害の発生が県内にはなく久しぶりに平穏な年でした。しかしながら、9月の菅政権から岸田政権への移行、10月の衆議院総選挙、第2次岸田内閣の発足等、変化の激しい年でした。

この様に年々めまぐるしく変化する内外情勢に迅速に対応しつつ、創隊5年目を迎える第42即応機動連隊が新連隊長を核心に益々精進強化されるものと期待していると伺います。

昨年同様にも前年同様にも新型コロナウイルスの影響で私たちOB会として連隊に対するご協力が出ず、また隊員の皆様に接する機会が殆どなく非常に残念で申し訳なく思っております。今年こそは、コロナを早期に克服し、後援会と共に連携し、しっかりと応援してまいり所存です。今後とも引き続きご厚誼・ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

さて、我が国を取り巻く安全環境は依然不安定で中国のコロナワクチン外交及び一帯一路推進の強化・力に拠る現状変更、香港・マカオ、中台問題、中東情勢、竹島・尖閣の領土問題等どれ一つとして目が離せない状況となっております。この様な状況の中、自衛隊はサイバー攻撃対処・宇宙防衛等新たな任務も付与され益々重要に、又、複雑になってきております。第42即応機動連隊は離島防衛、隊区内の防衛警備と重要な任務をこなす傍ら災害派遣、訓練・演習等息つく暇も無い様な忙しさではあると思いますが、心も身体も健康に共に頑張りましょう。

最後に、本年が皆様にとりまして、幸多き躍進の年となりますようお祈りしまして新年のご挨拶といたします。

第2中隊

謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中は第二中隊に対しひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。本年も中隊は所命必遂のため更なる精強化に向け邁進していく所存です。皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
第二中隊



中隊長
紀田 3 佐

第1中隊

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。中隊におきましてもOBの諸先輩方並びに隊員家族の皆様のご支援並びに深い御理解をして頂いたことにより検閲や各種競技会等それぞれの成果及び任務を達成できたことについて感謝しております。本年も引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
第一中隊隊員一同



中隊長
祝 3 佐

本部管理中隊

隊員家族の皆様、協力会会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、長引く新型コロナウイルスの影響を受けながらも、自衛官候補生・新隊員特設課程、師団狙撃手集合教育を担当するとともに、各直轄小隊等が訓練検閲を受閲して、隊員・部隊の練度向上に努めてきました。本年も連隊検閲を始めとする各種訓練等に対して、高射、対戦、偵察、通信、施設、補給、衛生、狙撃及び連隊本部班の機能を発揮して、任務に邁進していきます。今後とも、皆様のご理解ご協力をよろしく願います。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
本部管理中隊



中隊長
森田 1 尉

火力支援中隊

恭賀新年

昨年中は火力支援中隊に対し格別のご厚情に預かり心より感謝申し上げます。本年も火力戦闘部隊として更なる精強化に邁進していきます。ご家族皆様のご健康をお祈り申し上げます。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
火力支援中隊



中隊長
田中 1 尉

機動戦闘車隊

謹賀新年

旧年中は機動戦闘車隊に対し格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は様々な任務を完遂出来ましたのも、一重にご家族、協力会員等皆様のご理解、ご支援及びご協力のお陰であります。本年も昨年同様、並々ならぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
機動戦闘車隊



隊長
加賀谷 2 佐

第3中隊

初春のお慶びを申し上げます

旧年中は第三中隊に対しひとかたならぬご厚情に預かりまして厚くお礼申し上げます。昨年は、全員一丸となり与えられた任務を完遂して大きな成果を収めることができました。本年も中隊は更に精強な部隊の育成に努力する所存であり、皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。

令和四年元旦
第四十二即応機動連隊
第三中隊



中隊長
富永 3 佐

自衛隊統合演習 (03JX)

第3中隊訓練検閲

基地警備訓練 (宮古島)

連隊は、11月15日から12月3日の間、自衛隊統合演習(03JX)に参加し、沖縄本島及び宮古島において協同基地警備訓練、種子島において沿岸監視訓練を実施し、離島作戦における出動準備、機動展開、重要防護施設の防護等について演練、任務遂行能力の向上を図った。この間、宮古島における協同基地警備訓練においては、第3中隊(中隊長 富永3佐)の訓練検閲を兼ねて実施した。

応急出動準備訓練においては、離島作戦に必要な各種装備品の積載、携行・追送・残置物品及び、携行・残置文書のリスト作成等を通じ、任務遂行能力の向上を図った。

機動展開においては、連隊機動展開命令に基づき、北熊本駐屯地から陸・海・空路による迅速な機動展開により、連隊主力は沖繩本島へ、第3中隊は宮古島へ、偵察小隊は種子島に機動展開し、離島への即応展開能力の向上を図った。

協同基地警備訓練においては、空自との不断の警戒・監視、正確迅速な報告及び基地等に対する不法行動対処に係る任務遂行能力の向上を図るとともに、第3中隊に対して訓練検閲を実施し、教育訓練の成果を評価し、今後の進歩向上を促した。

また、沿岸監視訓練では、敵の着上陸兆候の早期発見及び継続監視能力を向上させるとともに、敵の着上陸時の目標標定要領を演練し、沿岸監視能力の向上を図った。



協同連携し不審者の拘束



応急出動準備



即応中隊準備完了報告



警戒監視



空中機動(空輸)



駐屯地出発(陸上機動)



不審者発見・対処



検問



海上機動



眼鏡による目測監視



不審者の拘束



指揮所活動



化学攻撃対処



モニターによる監視



夜間配備



不審者対処

協同基地警備訓練 (那覇基地)

沿岸監視訓練 (種子島)

HTCに向け始動!

連隊練成訓練 高射小隊検閲

連隊は、10月12日から17日までの間、大矢野原演習場において令和3年度連隊練成訓練を実施した。

本訓練は、令和4年1月に実施するHTC(西方運営)にむけた連隊練成訓練であり、連隊主力による防衛戦闘能力の向上を図ることが目的である。

この間、高射小隊(小隊長 小川2尉)の訓練検閲を実施した。

受閲部隊は、防衛準備から防衛戦闘までの一連の行動において、情報と火力の密接な連携により、主として対空戦闘を実施。小隊長の戦況に即する速やかな状況判断及び部隊指揮により、現出する敵を減殺し、連隊の防衛戦闘に寄与した。



近SAMによる射撃



遊撃対処



敵情監視



障害構成

防火帯野焼き(大矢野原演習場)

連隊は、10月6日から11日までの間、大矢野原演習場防火帯野焼きを実施した。

火入れ開始から部隊ごとに、火勢を制御するためのジェットシューター及び火消し棒等を携行し、風向、周囲の状況(森林等)また、人員の配置に留意し、火入れを実施し、野火による火災の未然防止及び演習場の長期安定使用に寄与した。



陸曹候補生履修前教育(特技)

第140期初級陸曹特技課程入校予定者に対して、10月18日から29日(軽火器・迫撃砲)、10月25日から11月5日(機甲)に履修前教育を実施し、陸士としての資質と体力を向上させ、共通的識能の涵養を図った。履修者は理想の陸曹を目標に、1月から各陸曹教育隊での教育に臨む。



師団狙撃手集合教育

連隊は、10月20日から12月23日までの間、各部隊の狙撃手要員に対して、必要な知識及び技能を修得させるとともに、特技職に必要な資質を養うことを目的とし、師団狙撃手集合教育を担任(担任官 本部管理中隊長 森田一尉)した。

教育開始の際、連隊長は「研究心」「自己管理」の2点を要望し、教育終了後には、プロフェッショナルな狙撃手と成れるよう訓練に邁進してほしいと訓示した。戦技訓練及び狙撃銃射撃訓練等、厳しい検定課目を乗り越え、連隊から3名の狙撃手が誕生した。



連隊武道競技会

連隊は、11月9・10日、北熊本駐屯地体育館において、連隊武道競技会を実施した。銃剣道団体戦及び個人戦、拳法団体戦、剣道及び柔道個人戦を実施。競技会は実力伯仲の戦いとなり、各中隊等は日頃の練成成果を遺憾なく発揮した。成果を残した中隊及び隊員は、中隊の名誉のため死力を尽くし白熱の競技会となった。



新配置隊員家族説明会

連隊は11月6・7日、新配置隊員の家族に対する家族説明会を実施した。入隊間もない新配置隊員の家族に、ご子息ご息女が勤務する部隊の状況の理解促進及び不安の除去が目的であり、部隊活動等のフリーフィングの他、中隊長との懇談、装備品や隊員が勤務する職場及び生活環境見学等を実施し、部隊家族間の今後の連携を図った。



Happy Wedding

- ★本部管理中隊長 亮太さん
- 藤川 3曹 花恋さん
- ★第1中隊長 加奈子さん
- 福山 3曹 七佳さん
- ★第2中隊長 史佳さん
- 畑中 3曹 紗椰さん
- ★第3中隊長 優紀さん
- 藤川 3曹 優紀さん
- ★機動戦闘車隊第1中隊長 愛さん
- 平野 3曹 愛さん
- ★機動戦闘車隊第2中隊長 舞子さん
- 永吉 3曹
- ★火力支援中隊長 舞子さん
- 樋口 3曹

- ★本部管理中隊長 透平さん
- 松本 2曹 仁菜さん
- 平野 2曹 郁人くん
- ★第1中隊長 湊士くん
- 北村 3曹 陽都くん
- ★第2中隊長 晃岐登くん
- 内田 3曹 侍優人くん
- 東 3曹 優仁くん
- 工藤 3曹 奏芽さん
- 中脇 3曹 蒼真くん
- ★第3中隊長 千翼くん
- ★機動戦闘車隊本部付隊長 時吹くん
- 木牟禮 3曹 維吹くん
- ★機動戦闘車隊第2中隊長 陽翔くん
- 横田 2曹 滯さん
- 坂元 3曹 笑乎さん
- ★火力支援中隊長 笑乎さん
- 村上 3曹
- 植田 3曹



火力支援中隊 栗原士長

【今年こそ小顔】



機動戦闘車隊 河口3曹

【猪突猛進】



第3中隊 片岡3曹

【虎穴虎子】



第2中隊 井崎准尉

【凡事徹底】



第1中隊 西本3曹

【猪突猛進】



本部管理中隊 山本土長

【自信前進】

令和4年
年男・年女の抱負



第1中隊 内村士長

【貯金】



第1中隊 四元士長

【挑戦】



本部管理中隊 大津士長

【向上】



本部管理中隊 原田士長

【感謝】



本部管理中隊 吉良士長

【貯金】



本部管理中隊 渡邊士長

【健康第一】



本部管理中隊 藤屋士長

【決断】



本部管理中隊 井上士長

【挑戦】



本部管理中隊 安田士長

【努力】



本部管理中隊 黒木士長

【一生懸命】



令和4年
新成人の抱負



第3中隊 大嶋士長

【機知縦横】



第3中隊 山内士長

【心機一転】



第3中隊 伊藤士長

【常勝】



第3中隊 市原士長

【親父超え】



第2中隊 平井士長

【獅子奮迅】



第2中隊 和久田士長

【親父超え】



第2中隊 嶽本土長

【勇往邁進】



第1中隊 中尾士長

【成長】



第1中隊 西村士長

【貯金】



火力支援中隊 川端1士

【気合い】



火力支援中隊 群山士長

【笑顔】



火力支援中隊 宮士長

【全力】



火力支援中隊 白木士長

【元気いっぱい】



機動戦闘車隊 谷口1士

【貯金】



機動戦闘車隊 竹野士長

【全力】



機動戦闘車隊 石橋士長

【明るく楽しく】



機動戦闘車隊 渡邊士長

【不撓不屈】



機動戦闘車隊 渡邊士長

【七転び八起】



9月



5月



1月



10月



6月



2月



11月



7月



3月



12月



8月



4月

写真で振り返る令和3年